

現場の声を教育長へ ～教育 DX やエアコン・トイレの改善など～

6月25日に県庁教育長室にて高教組の委員長・副委員長・書記長・執行委員の4名が平田郁美教育長と懇談を行い、現場の状況や課題について語りました。

スマート連絡帳、百問繚乱の導入など現場で教育DXが進んでいますが、情報端末を使用する際、Wi-Fi 接続やプログラムの起動に時間がかかること、BYOD 導入に伴い情報担当職員をはじめとする教職員の人的負担が重いことなどの課題を伝えました。県教委も課題は理解しているとのことでしたが、さらに環境整備を進めてもらいたいという要望を伝えました。



また、改定給特法の成立に伴い「教職調整額を段階的に10%に引き上げるために、他の教育予算を削減しないこと」と国会で付帯決議がなされていることや、東京で「主任教諭」導入後、教員の離職率がダントツに増えたこともふまえ、新たに学校教育法で規定された「主務教諭」にも問題があるため、群馬県で導入すべきではない旨も伝えました。

その他、現場からはトイレの改善・特別教室へのエアコン導入が特に要望の多いこと、病休・育休の代替がみつからないことなども話題になりました。

ご存じですか？時差出勤

かねてから高教組が要求している「時差出勤」について、今年3月に各校長あて通知が出されていることが教育長懇談後に確認できました。

「時差出勤」は、夏休み中に部活動指導をする際の熱中症対策として要求してきました。例えば、朝1時間早く指導を初めて1時間早く勤務を終えることができるというもので、今回の通知によれば、校長が認めれば可能ということです。ぜひ、各職場で積極的な活用を図ってください。

「引率業務で個人負担」改善へ

「引率旅行等に係る旅費調整(管理課基準)について」という通知が今年2月に管理課から校長あてに出されています。旅行雑費のうち「入場料等及び荷物運搬料」が1日の上限(3,600 円)を超える場合、「管理課と事前協議の上、実費を支給する」という内容となっており、支給対象には遊園地等入場料も含まれています。ディズニーランドやハウステンボス、USJなどを訪れ、引率業務のために職員の個人負担が発生するのはおかしいと感じていた人も多いと思います。

現場で「？」と感じたことを「？」で終わらず高教組は粘り強く要求していきます。あなたの「？」を組合までお寄せ下さい。

仕方がないを変えていこう
学校の「ん？」を「ん？」のままで終わらせないぜ！

右のQRコードから、ご意見・お困りごとフォームにつながります。
みなさんのご意見や現場のお困りごとをお寄せください。

